

わたしたちのくらしと 地域経済を支えるインフラ

インフラの整備は「未来への投資」であり、将来の経済成長の基盤となり、安全で豊かな生活の実現に資するストック効果の高い事業を戦略的に進めていく必要があります。

本県では、県民生活や経済活動を支える交通基盤の整備・機能強化、国土強靱化に向けた防災・減災対策等を重点的に推進し、『くらしの豊かさ日本一の宮崎』を実現します！

この事例集は、このような本県の取組を紹介します。



令和元年10月6日 国富スマート I C 開通！

令和2年1月
宮崎県 県土整備部



目 次

【高速道路】

- P 1 大規模災害発生時に **支援路・代替路**として機能！
- P 2 人流・物流の活性化で **生産性向上・経済成長**を牽引！
- P 3 高速道路開通で日帰りツアーが可能に！『**ストック効果の体験**』

【道路】

- P 4 輸送効率化により **沿線地域の経済活動が活性化**！
- P 5 災害に強い道路整備により **中山間地域の活性化に貢献**！
- P 6 企業誘致と連携した **アクセス機能向上**！
- P 7 【国土強靱化】自然災害から **地域経済・暮らしを守る**！

【港湾】

- P 8 港の整備による **基幹産業の競争力強化**！
- P 9 官民連携で進める **物流機能の拡大と強化**！
- P10 県南地域の観光、災害発生時における **受入体制の整備**！

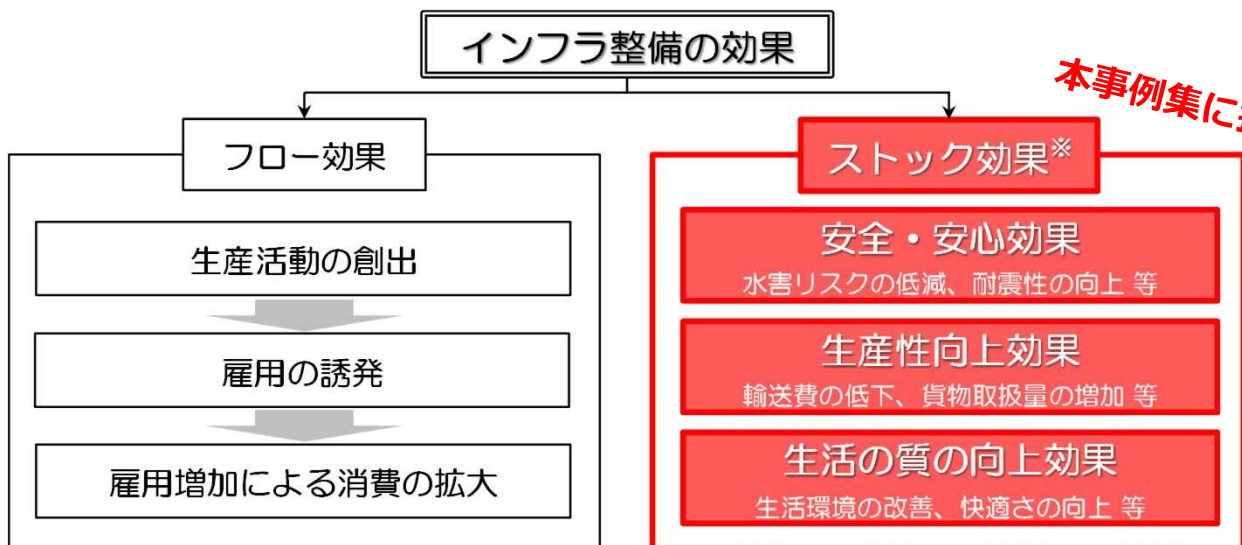
【河川・砂防】

- P11 地域特性に応じた整備で **住民の不安を解消**！
- P12 多様な情報提供により **防災意識の向上**！
- P13 防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策による **地域防災力の向上**！

【都市整備】

- P14 雨水ポンプ場等施設の整備に伴う **家屋浸水被害の軽減**！
- P15 県内の公園施設整備で **スポーツランドみやざきが推進**！
- P16 地域のニーズに応じた **安全な道路空間の確保**！
- P17 コンパクトシティの取組で **まちなかの魅力が向上**！

ストック効果とは？

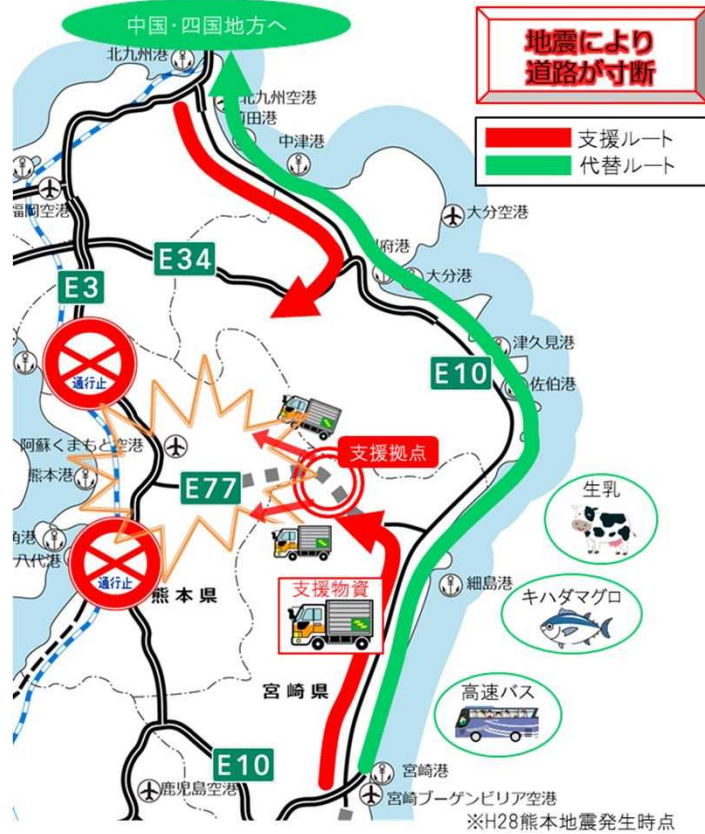


※整備されたインフラが機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる効果

大規模災害発生時に 支援路・代替路として機能！

東九州道・九州中央道

熊本地震発生後において、東九州自動車道、九州中央自動車道が被災地の復興及び九州全体の経済を支える役割を果たす！

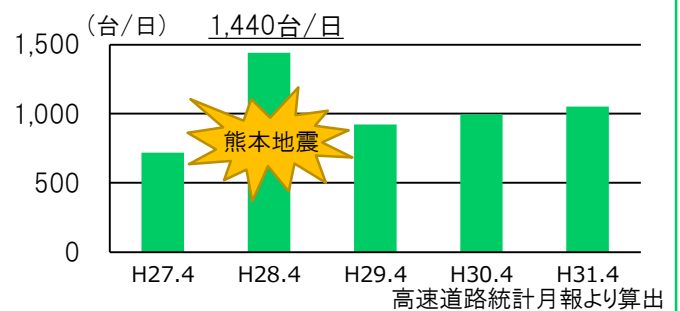


被災地への支援ルートとして機能



九州縦貫自動車道の代替ルートとして機能

【中型車以上交通量推移(門川IC～清武南IC)】



求められるミッシングリンク解消と4車線化



ミッシングリンク解消

南海トラフ地震発生時の支援ルート確保

〔南海トラフ地震発生時
東九州地域沿岸部は大津波により地域が孤立〕

暫定2車線区間の4車線化

高速道路が被災した際、早期の交通機能回復

〔熊本地震の際
九州縦貫自動車道は4車線のため、上り線を利用し
早期に交通機能を確保〕

災害に強い
道路ネットワーク

安全・安心の確保

人流・物流の活性化で 生産性向上・経済成長を牽引！



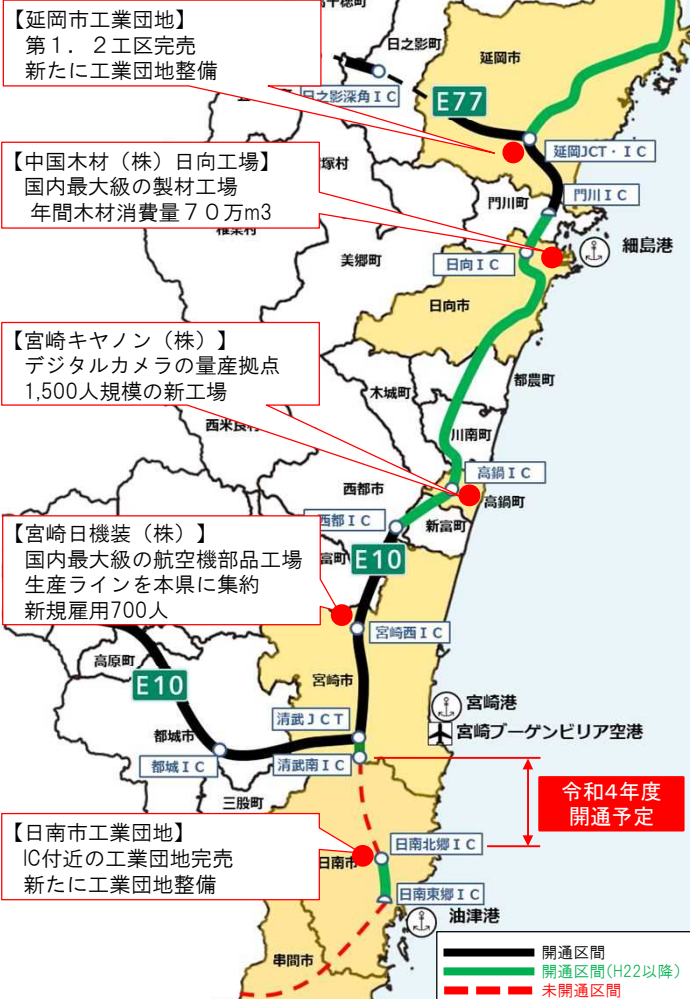
着実に進む東九州自動車道整備

県内東九州道供用率
(H22) 34% → (H30) 73%

H22以降 順次開通

- H26.3 「延岡～宮崎」間 開通
- H27.3 「大分～宮崎」間 開通
- H28.4 「北九州～宮崎」間 開通
- H30.3 県南区間(日南北郷～日南東郷)開通

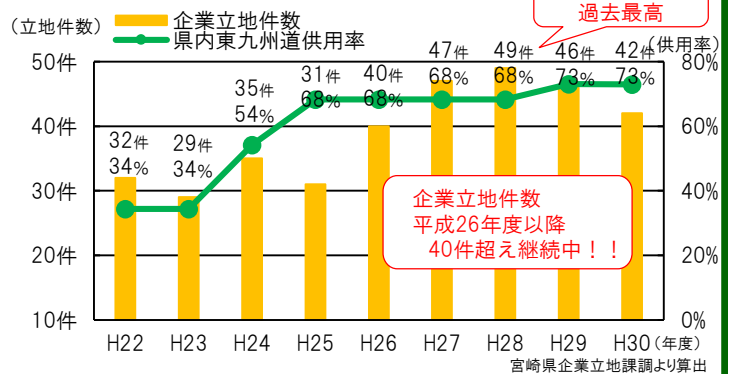
主な企業立地状況



進む企業立地

企業立地件数 351件 (H22~H30年度累計)
雇用予定者数 13,709人 (H22~H30年度累計)

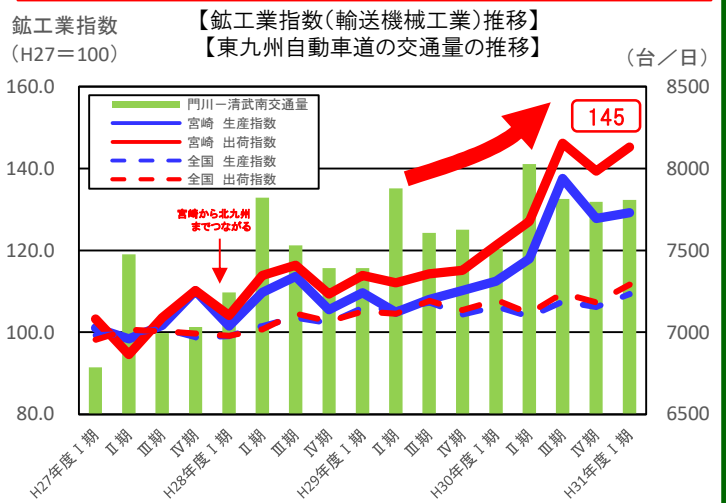
【県内企業立地件数推移】



企業活動の活性化

鉱工業指数(輸送機械工業出荷指数) H27比 1.45倍!!
東九州自動車道交通量の伸びと強い相関!!

- ・輸送機械工業は、自動車部品や航空機部品関連企業が対象
- ・全国の数値が緩やかに伸びている中、平成28年4月以降、宮崎県の数値は生産、出荷ともに急激に伸びている
(平成28年4月、東九州自動車道が宮崎から北九州までつながった)



※ 宮崎県の鉱工業指数(輸送機械工業出荷指数)と、東九州自動車道「門川～清武南」間の交通量の相関係数は、0.631

宮崎県鉱工業指数月報 高速道路統計月報 より算出

ミッシングリンク解消

暫定2車線区間の4車線化

人流・物流ネットワークの強化

経済成長
実現

高速道路開通で日帰りツアーが可能に！ 『ストック効果の体験』

「高千穂日之影道路」
 H30.11.11開通 延長2.8km
 2021(仮)年内開通予定 延長2.3km
12月10日
ストック効果体験
体験しよう!!
in日之影町
高速道路の整備について
竹細工体験
道の駅「青雲橋」
 参加費:300円(税別) 昼食:1000円(税別)ツアーバス乗車料:30% おみやみしほひ多摩乗車部 竹細工体験料:1500円



日之影町 位置図

大分県 龍本県 鹿児島県
 熊本空港 日之影町 細島港 宮崎県 宮崎市 宮崎港 宮崎ブーゲンビリア空港 油津港

九州中央自動車道 九州自動車道

同済地区(4車線) 同済地区(4車線) 事業中地区 非事業化地区

ストック効果体験
 ・竹細工づくり
 ・地元手作りお弁当
 ・地元特産品お買い物
工事現場体験
 ・高千穂日之影道路

高速道路の「ストック効果」について語る 地元の声

日之影町建設課 甲斐課長補佐

私が子どもの頃は、宮崎市から日之影町まで約4時間かかっていましたが、これまでの高速道路などの整備で約2時間で来れるようになりました！！最近、県内外からの観光客が多くなりました！！

高速道路の「ストック効果」体験後に寄せられた 参加者の声

～ 竹細工体験 ～

宮崎市からの日帰りバスツアーで竹細工体験までできるようになったのはやはり高速道路のおかげです！！

レジには観光客の長蛇の列！！でも、ゆっくり時間があったので、日之影町の特産品をたくさん買うことができました！！また友人を誘って、日之影町に遊びに來たいです！！

～ 高千穂日之影道路 ～

宮崎218号 隧道トンネル新設工事見学

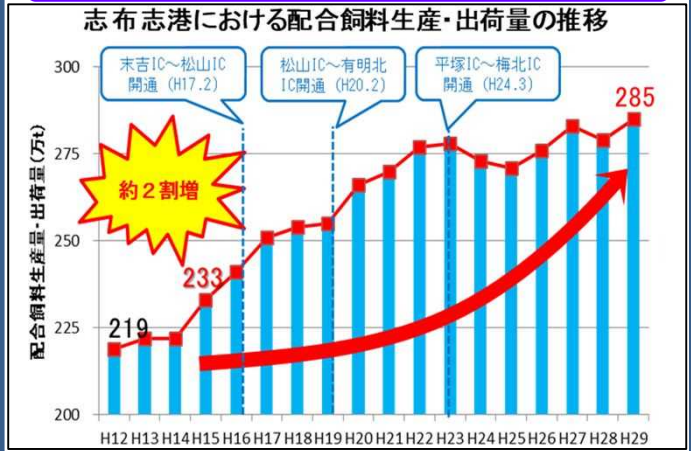
～ 道の駅「青雲橋」～

トンネルの工事現場も体験できました。とても迫力がありました！！次の開通が待ち遠しいです！！

輸送効率化により 沿線地域の経済活動が活性化！



輸送効率化による農畜産業の活性化



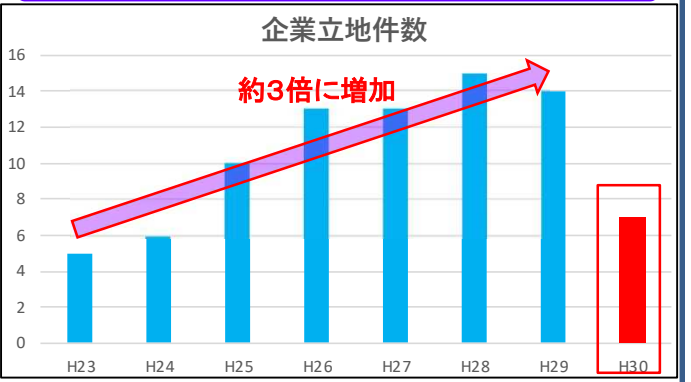
都城志布志道路の整備と比例するように、志布志港では、**飼料の生産・出荷が増加！**輸送が効率化されることで、沿線地域の**農畜産業の活性化に期待ができる！**

H29農業算出額（億円）

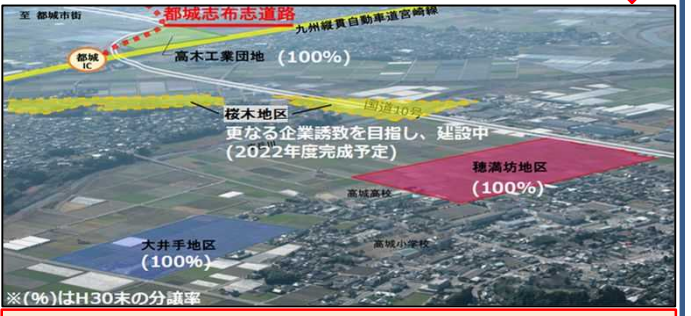
順位	市町村	算出額（億円）
1	愛知県田原市	883
2	宮崎県都城市	772
3	茨城県鉾田市	754
4	北海道別海町	647
5	千葉県旭市	582
6	新潟市	580
7	静岡県浜松市	512
8	熊本市	458
9	愛知県豊橋市	458
10	鹿児島県鹿屋市	456
11	鹿児島県南九州市	441
12	鹿児島県志布志市	421
13	青森県弘前市	410
14	千葉県香取市	403
15	前橋市	399
16	熊本県菊池市	386
17	鹿児島県曾於市	376
18	熊本県八代市	375
19	宮崎市	375
20	茨城県小美玉市	372

平成29年度 市町村別農業産出額の部門別において、**都城市は全国2位!!!**

輸送効率化による地域経済の活性化



都城市では、都城志布志道路の全線開通を見越して、**企業立地が急増!!! (宮崎県内1位)**



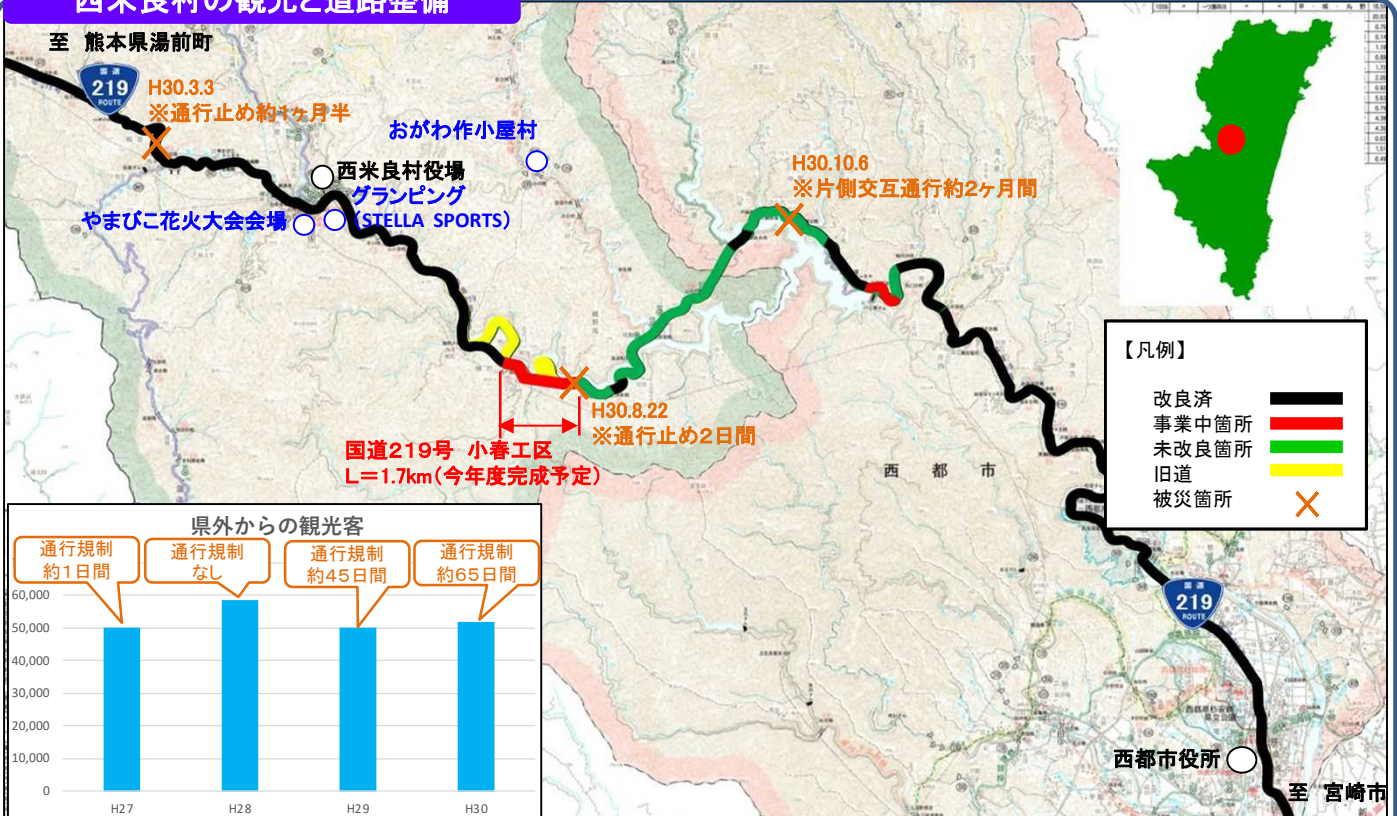
都城市では、分譲していた**都城インター工業団地が平成29年度末にすべて完売**するなど、順調に企業立地が進んでいる。

平成30年度は、企業が望む土地がないことなどの理由から、企業立地件数は、平成29年度の半分となった。

都城市では、さらなる企業立地のため、都城インター工業団地に**新たに桜木地区を造成!!!2022年度の完成**を予定している。

災害に強い道路整備により 中山間地域の活性化に貢献！

西米良村の観光と道路整備



西米良村の人口(約1,000人)の50倍に当たる50,000人の観光客が毎年訪れている。
 しかし、平成29、30年度は、**長期間の通行規制を伴う大規模な災害が発生し、観光客が減少。**(国道219号は、宮崎市や西都市を結ぶ唯一の幹線道路)

災害に強い道路整備 ～国土強靱化～

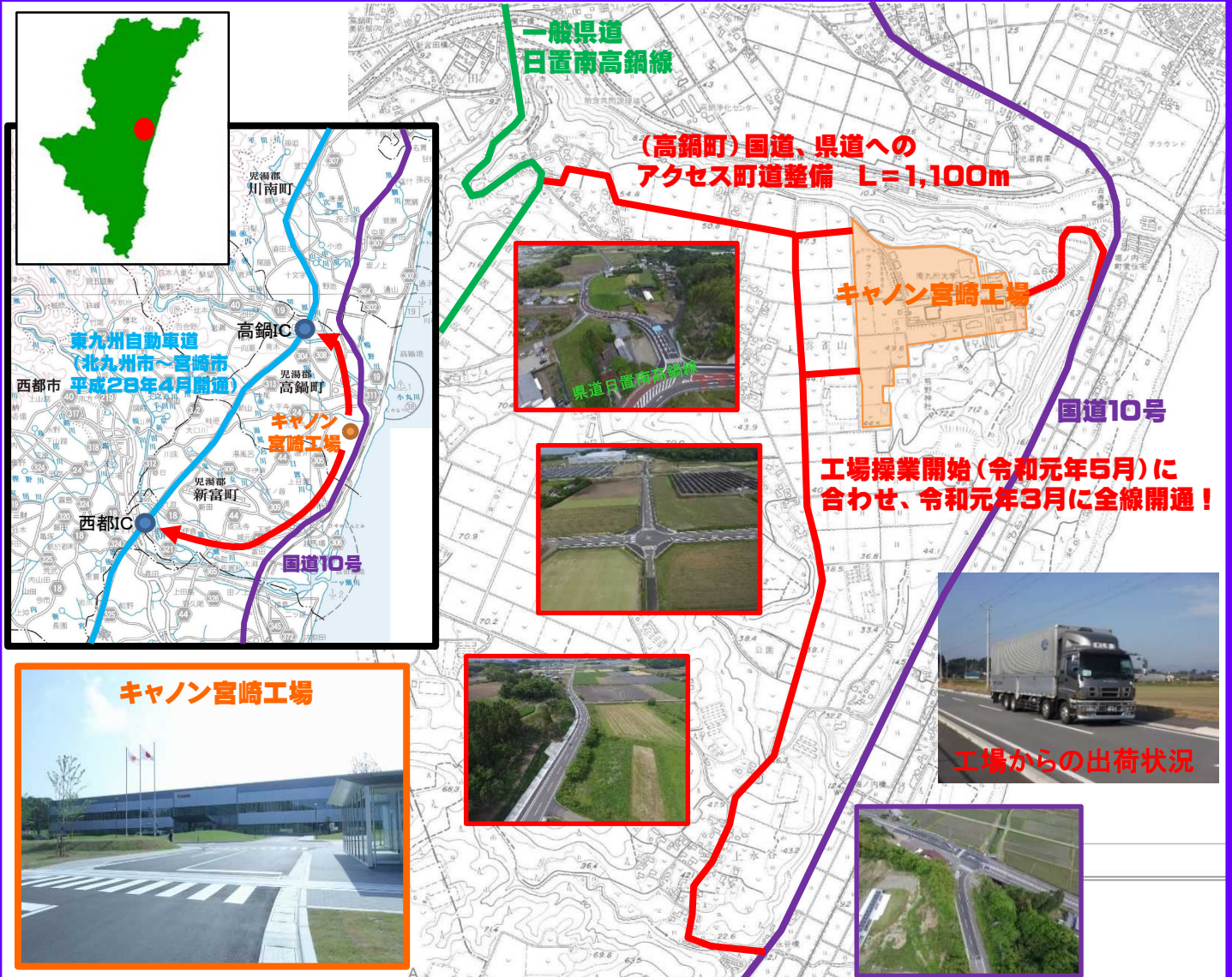


被災履歴や法面崩壊のおそれのある区間をトンネル等のバイパスで迂回することにより、**危険リスクを解消し、安全・安心な道路を確保することが可能。**

県外からの観光客が急増!!!魅力ある西米良村



企業誘致と連携した アクセス機能向上！



アクセス道路整備によるネットワーク機能の向上



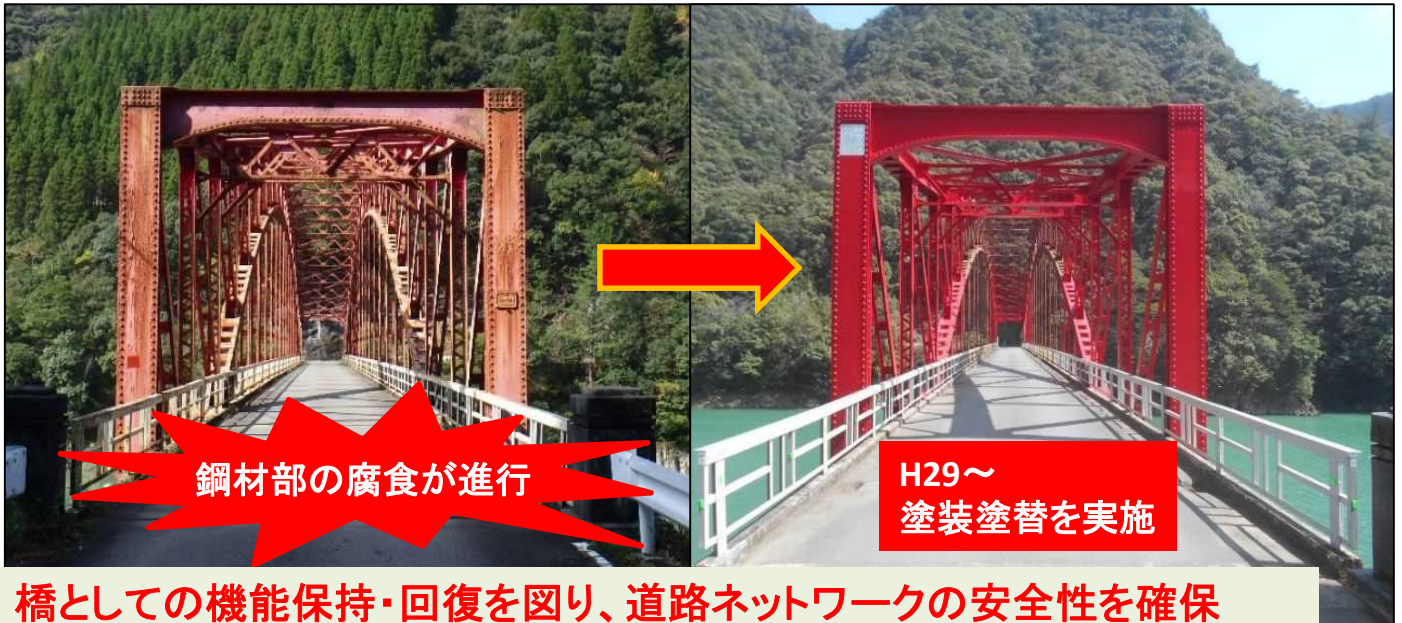
雇用人数1000人 → 1500人に増員を予定

【国土強靱化】 自然災害から 地域経済・暮らしを守る！

老朽化(橋梁)対策

主要地方道 東郷西都線 (尾鈴橋)

橋梁点検:健全度Ⅲ判定(鋼材部に防食機能の劣化、腐食)⇒早期措置が求められる橋梁



橋としての機能保持・回復を図り、道路ネットワークの安全性を確保

橋梁耐震対策

国道218号 (九州東進作戦)

優先啓開道路である国道218号の橋梁について耐震補強を推進



千支大橋



天馬大橋



上顔橋



ひつじ橋



槇峰大橋



青雲橋



雲海橋

橋の耐震性能を強化し、大規模な地震が発生しても通行可能な状態とすることを旨とする

港の整備による 基幹産業の競争力強化！



木材消費量の拡大

16号岸壁 新規事業採択

製材消費量増加と原木輸出量増加で
林業再生に期待



原木を取扱う岸壁が整備され、
林産品輸移出量のさらなる増加が期待！

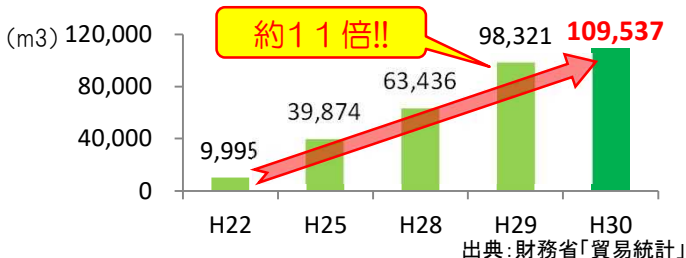
RORO船の大型化

2020年2月(予定) 「HAKKOひなた」として大型化

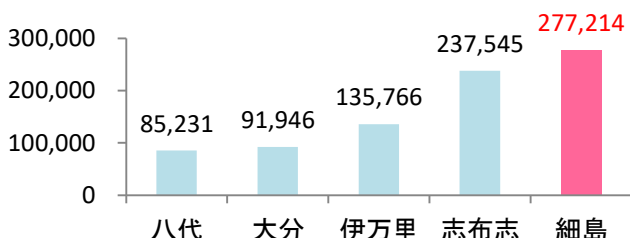


貨物積載量を約2倍とし、これまで
載せきれなかった貨物の受け入れが可能に！

細島港の丸太輸出货量(年)



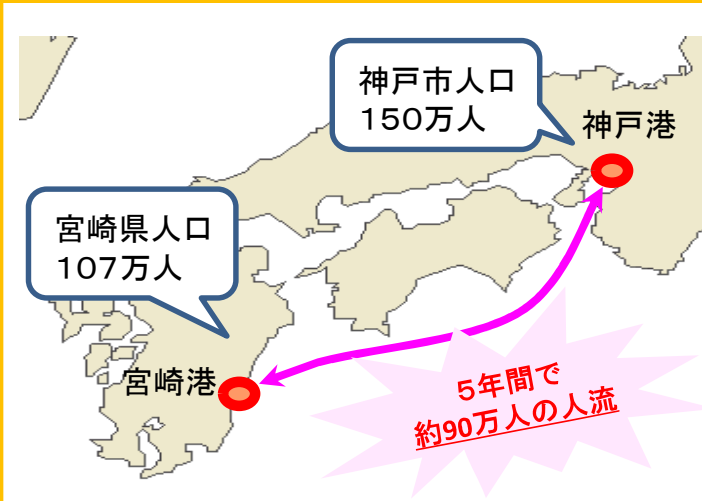
平成29年 細島港の林産品(輸移出) **九州1位**



官民連携で進める 物流機能の拡大と強化！



フェリーの利用状況



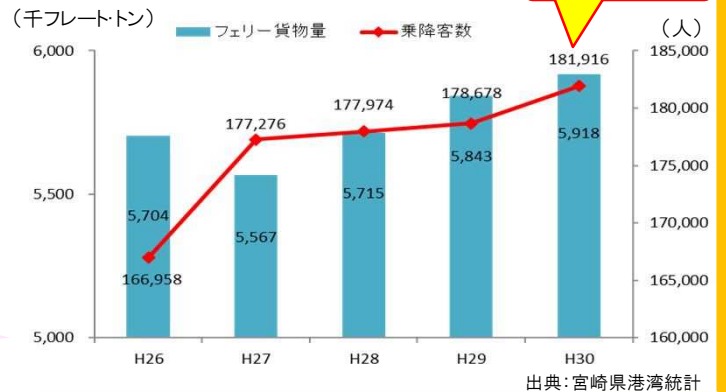
神戸⇄宮崎就航5周年

◎就航5周年イベント(R1. 10. 14)



就航5周年記念として、瀬戸内クルーズが行われ、式典では宮崎の特産品が振る舞われました。

フェリー貨物量と乗降客数(年)



フェリー貨物の約7割が農畜産物(重量ベース)

本県産農畜産物の約1/4に相当

出典: 総合交通課資料

利用拡大に向けて

- 2022年を目標に官民連携による、**カーフェリーの大型化**を計画
- ▶ **トラック積載台数の増加**で、**ドライバーの負担軽減**
 - ▶ 都市圏に向け、**安価で大量輸送が可能**
 - ▶ **個室増加**で、**多様な旅客ニーズに対応**

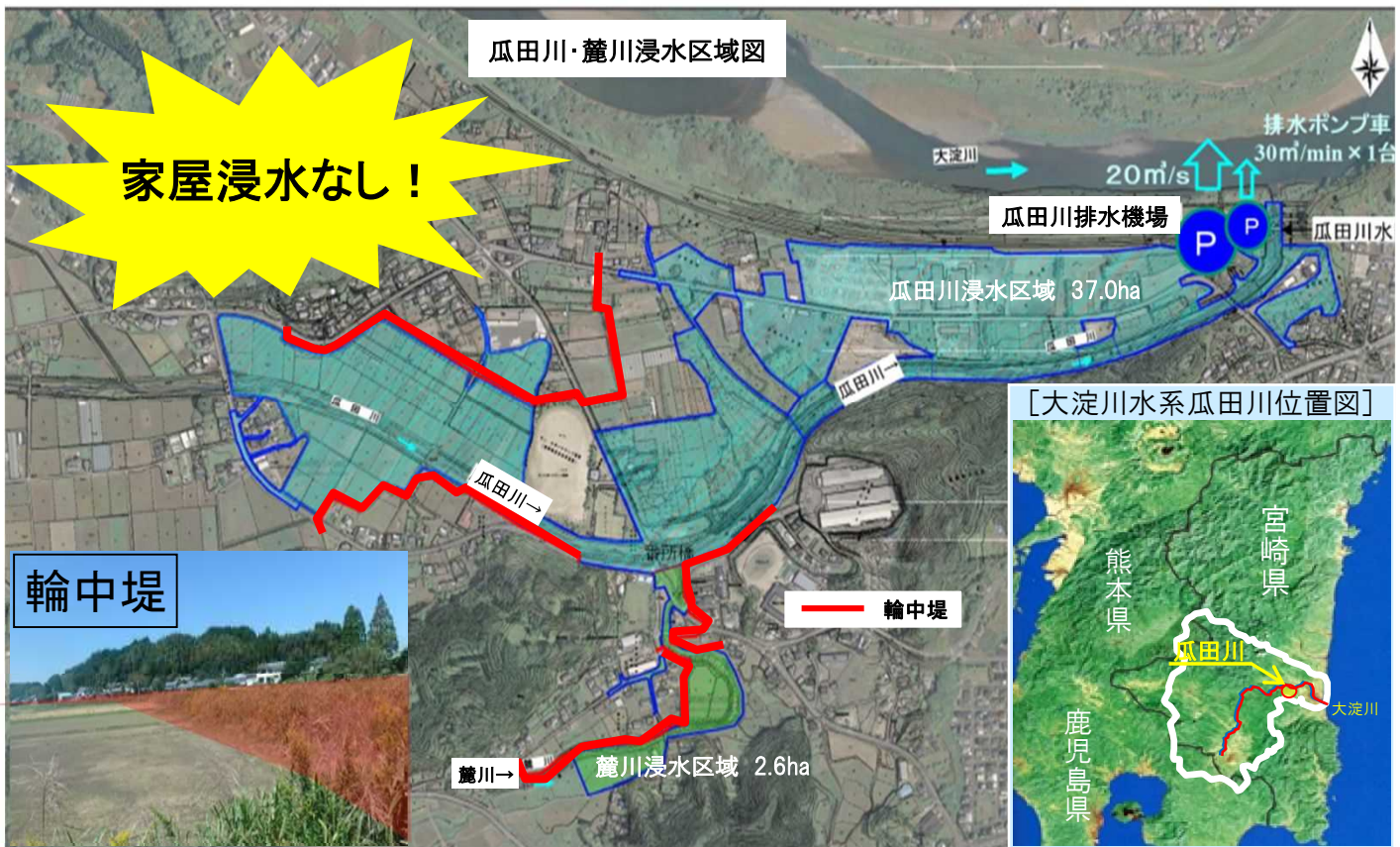
地域特性に応じた整備で 住民の不安を解消！

大淀川水系瓜田川 被害状況

瓜田川流域では、これまで
平成9年 平成16年 平成17年の
出水で浸水被害が発生。
浸水被害の常襲地区であった。



令和元年7月の豪雨 輪中堤等で家屋の浸水被害を解消!!

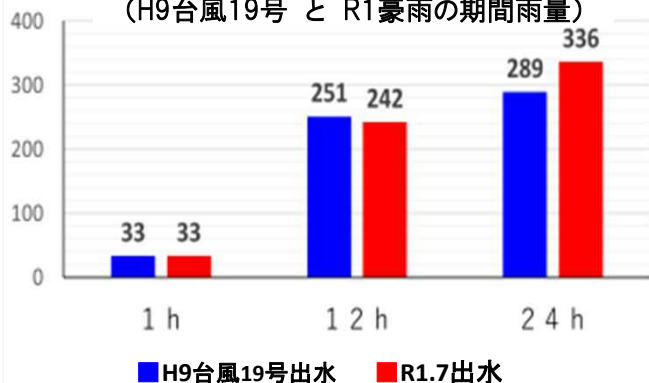


整備効果

平成9年と同規模の降雨であったが、輪中堤と瓜田川排水機場の一体整備などにより、平成9年出水の浸水戸数151戸が、今回は、0であった。

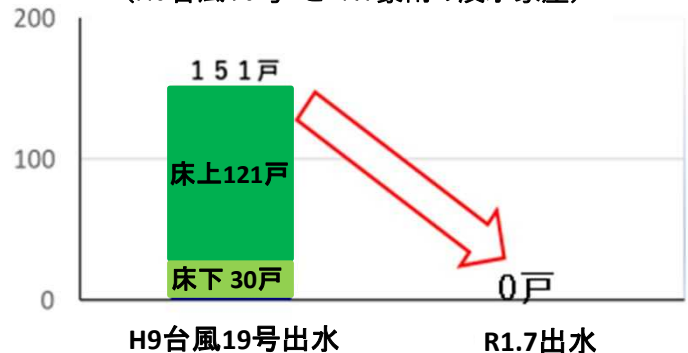
雨量比較

(H9台風19号 と R1豪雨の期間雨量)



浸水家屋数比較

(H9台風19号 と R1豪雨の浸水家屋)



多様な情報提供により 防災意識の向上！

近年、想定を超える
浸水被害が多発

近年、台風や豪雨災害等による
水害が全国各地で発生。

激甚化・頻発化
により**被害が拡大**

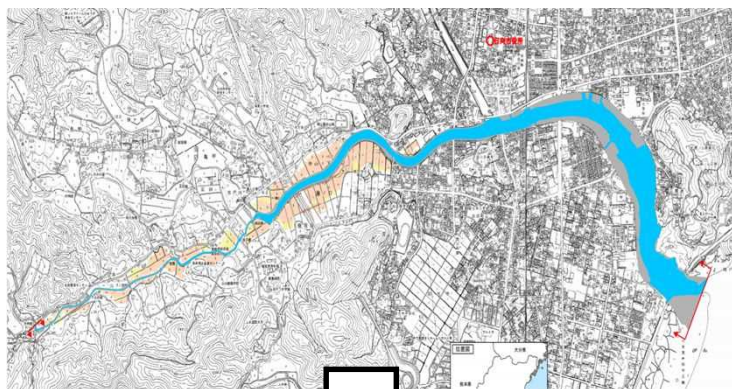
被害状況 平成30年台風24号



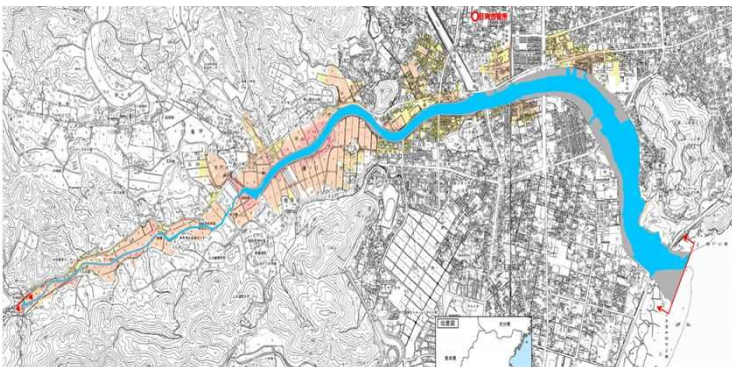
想定最大規模の洪水浸水想定区域図

県内全河川で公表

塩見川水系塩見川洪水浸水想定区域図（計画規模）



塩見川水系塩見川洪水浸水想定区域図（想定最大規模）

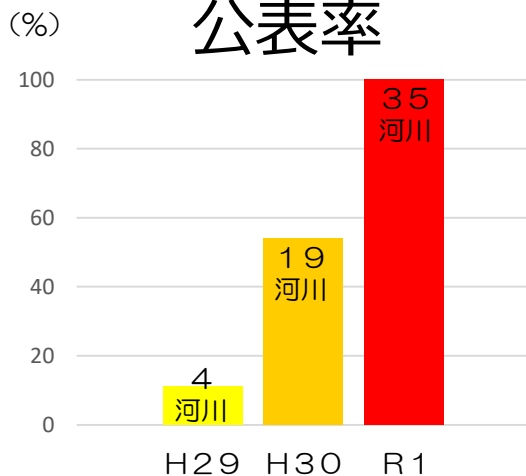


想定し得る最大規模
洪水浸水想定区域図の
公表率100%

(洪水予報河川および水位周知河川)

洪水浸水想定区域図
(想定最大規模)

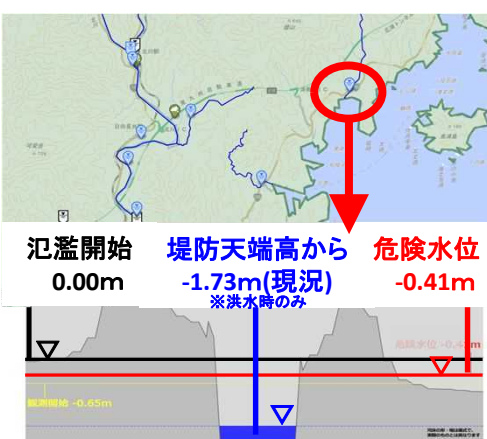
公表率



身近な河川の情報新たに提供

危機管理型水位計を設置

新たな水位情報



身近な河川の水位情報を
ネットで閲覧

危機管理型水位計

令和元年度

73基設置

防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策 による 地域防災力の向上！

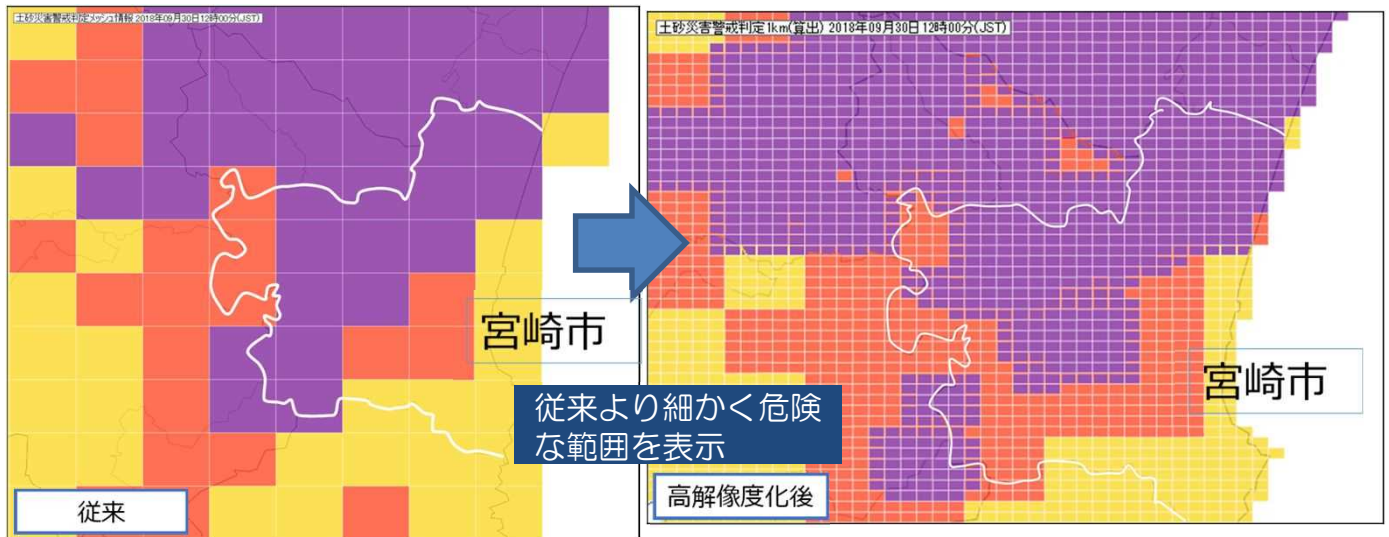
水害・土砂災害から命を守るインフラの強化

延岡市 浦尻第2地区



避難所・避難路等が存在する
土砂災害の恐れのある区域を**重点的に整備**

土砂災害から命を守る情報の充実



土砂災害警戒判定メッシュ情報を高解像度化

早期避難のための情報提供をきめ細かく提供することにより、**避難率の向上**を期待

施設の整備と実効性のある避難の確保により
土砂災害による人的被害ゼロ！

雨水ポンプ場等施設の整備に伴う 家屋浸水被害の軽減！

浸水（内水）対策

令和元年7月の梅雨前線豪雨における浸水対策の効果事例

宮崎県都城市：下水道

- 市街地部ではこれまでの豪雨において、一級河川大淀川の水位上昇を起因とする内水氾濫により浸水被害が発生していた。
- 浸水対策として、当排水区域内の雨水幹線等に雨水を強制排除する「**岳下（たけした）ポンプ場**」と「**都島（みやこじま）ポンプ場**」を整備した。
- その結果、平成17年の台風では床上浸水6戸、床下浸水4戸であった浸水被害が、令和元年7月3日の梅雨前線豪雨時には、同規模の降雨であったにも関わらず、**床下浸水1戸のみ**となり、大幅に浸水被害を軽減させることができた。

action

具体的な取組



2つの雨水ポンプ場を整備

岳下ポンプ場

Takeshita



【事業期間】
平成20年度
～平成24年度



都島ポンプ場

Miyakojima



【事業期間】
平成26年度
～平成29年度



effect

事業による効果



平成17年 台風14号



軽減

令和元年 梅雨前線豪雨



県内の公園施設整備で スポーツランドみやざきが推進！

プロ・アマの各スポーツ団体が利用!!

青島

県総合運動公園



県内の公園施設整備によりスポーツ施設が充実

サンライズブルペン(県総合運動公園)H31.2完成



巨人軍宮崎キャンプにも使用する
6人同時投球可能な本格的ブルペンを新設

早水公園サブアリーナ・武道館(都城市)H30.9完成



新たに整備した運動施設において
令和元年度全国高等学校総合体育大会を開催!

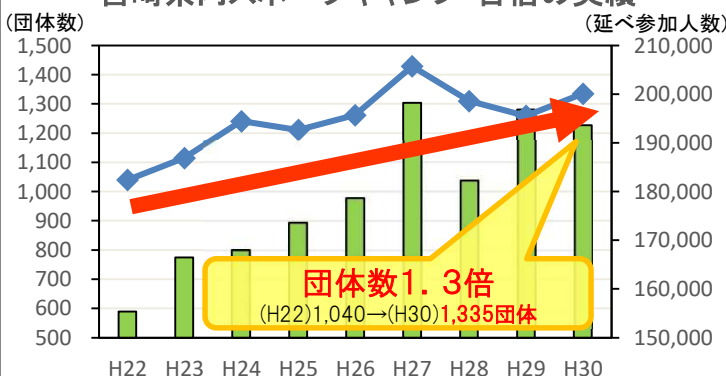
第2トレーニング場(県総合運動公園)R1.10完成



トップアスリートも使用するトレーニング専門器具を
備えたトレーニング場を新設

スポーツ施設の充実により、キャンプ・合宿利用者増加中!!

宮崎県内スポーツキャンプ・合宿の実績



国民スポーツ大会等に向け スポーツ施設整備を本格化

利用環境の
向上

2019年
山之口運動公園
整備着手

2020年
東京
オリパラ
開催

2026年
国民スポーツ
大会・障害者
スポーツ大会

観光客の
増加

地域のニーズに応じた 安全な道路空間の確保！



歩道空間整備

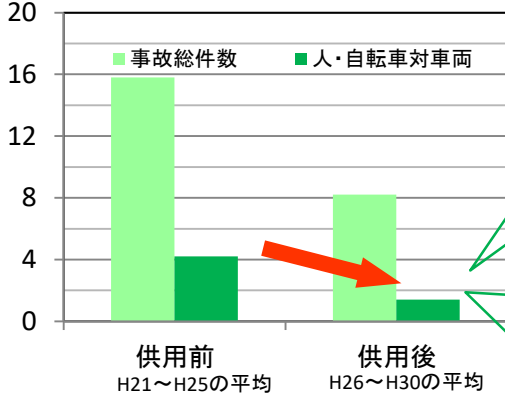
都市計画道路 蚊口高月線 (中央通工区) [主要地方道 高鍋高岡線]

< 整備効果 >

～事故発生件数の減少～

人・自転車 対 車両 の事故が

約 **7** 割減



歩きやすい、車
が通る時に安心
して歩ける。
(小学生)

危ないと思うこと
が少ない、通学し
やすくなった。
(高校生)

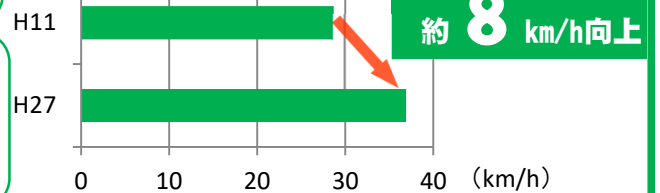


整備前混雑状況

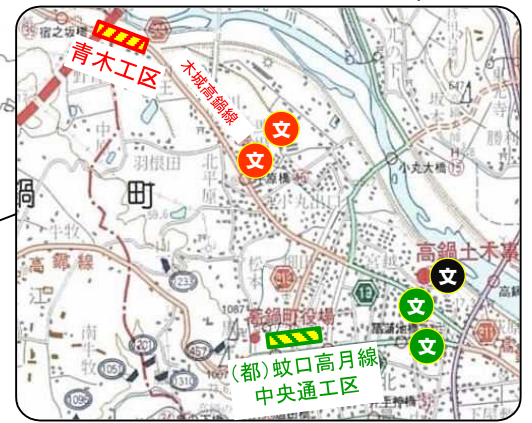
～交通混雑の解消～

混雑時の走行速度が

約 **8** km/h 向上



歩道が広いのでとても安心して歩ける。
歩道のデザインも気に入った。(中学生)



一般県道 木城高鍋線 (青木工区)



整備前

県管理道の要対策箇所 (H24緊急合同点検による抽出) **246** 箇所



整備後

県管理道の要対策箇所 残 **23** 箇所
(令和元年11月末現在) (223箇所対策済み)

コンパクトシティの取組で まちなかの魅力が向上！



既存ストックの活用により空間的充実とコスト縮減を実現

旧図書館の約3倍の床面積 約31億円の整備コスト縮減 (同規模図書館の新設と比較)



効

◎中心市街地の集客施設入込み数が約2.5倍に増加

【H29年度】約120.9万人/年 ⇒ 【H30年度(開館後)】約309.8万人/年
※中心市街地の主要な医療・金融・公共機関等集客施設の入込み数

◎中心市街地の新規開業店舗数が増加

【H29年度】9件/年 ⇒ 【H30年度(開館後)】23件が新規出店

◎中心市街地の歩行者通行量が回復傾向

【開館前(H29年度)】155人/日 ⇒ 【H30年度(開館後)】369人/日

果



国文祭・芸文祭みやざき2020
2020/10/17 ▶ 12/6

宮崎県におけるインフラのストック効果事例集 (vol.6)

令和2年1月発行

宮崎県県土整備部